

# 「血液培養採取セット数制限下での抗菌薬使用状況調査」

## 1. 研究の対象

2024年3月1日から2024年10月31日までに血液培養検査を受けられた患者さんを対象とします。

## 2. 研究目的・方法

### 【目的】

重症の感染症や菌血症（本来無菌であるはずの血液中に細菌が存在する状態）を疑った場合、血液を採取して培養を行ない、培養の結果より得られた微生物の情報によって適切な抗菌薬を選択したり治療期間の目安にしたりします。通常、血液培養は原因微生物以外の混入を少なくしたり、培養の感度を高めるために複数セット採取されます。しかし、2024年7月からこの血液培養の検査をするための検査ボトルが世界的に不足し、使用量を制限せざるを得ない状況となりました。制限の仕方は施設により様々ですが、当院では複数セットの検査ではなく、1セット採取に変更することで、検査ボトル不足により全く検査が行えなくなる状況を回避する対策を取りました。これまで血液培養検査は複数セット採取が通常でしたので、このように一時的ですが、血液培養を1セットで行なうことは日常的ではなく、培養採取セット数の変更が臨床にどのような影響があるかを調べることは今後再び培養ボトルが不足した際に対策を考えるための重要な情報になる可能性があります。特に感染症治療では抗菌薬が使われますが、抗菌薬の種類は多く、耐性菌の出現も懸念されることから適正使用が重要な課題です。そこで本研究では、血液培養採取セット数が制限された状況での抗菌薬の使用状況を調査することを目的としています

### 【方法】

血液培養検査を受けられた患者さんを対象に、臨床データについて情報を収集します。主要評価項目として抗菌薬の使用状況の把握を設定しています。複数セット採取と1セット採取での抗菌薬の選択や使用状況についての調査を行ないます。今回の研究は通常診療で得られた既存情報を用いた観察研究です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

通常診療にて実施する検査の結果をはじめとする記録済臨床データを使用します。患者さんの照合のために使用する情報は登録番号と被験者識別番号のみです。氏名、生年月日、イニシャル等は使用しません。

## 4. 外部への試料・情報の提供

上述する試料ないし情報の外部への提供に関しては、本研究において行いません。

## 5. 研究組織

市立吹田市民病院のみで実施する研究であり、企業からの資金提供を受け実施する研究ではありません。

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：

市立吹田市民病院 薬剤部 児玉 暁人

〒564-8567 大阪府吹田市岸部新町 5-7

TEL:06-6387-3311